

《第4章》

防犯教育に役立つ情報・資料

子どもの犯罪被害の現状と分析

1 子どもの犯罪被害の実態を知る

子どもの防犯対策を考える上では、その被害実態を知ることが重要です。しかし、子どもの犯罪被害の実態はこれまで十分に明らかになっていません。その理由は、①警察が事件化できない軽微な事案が相当数存在する、②被害にあった子どもや保護者がその被害を警察や学校に伝えるとは限らない、といったことがあります。

千葉大学の中村攻教授は小学生児童に被害実態をたずねる大規模なアンケート調査を行っています。たとえば、東京都区部の小学4～6年生1,460名を対象に調査したところ、有効回答949名中363名(38.2%)が何らかの被害を経験していました。また、福井県の農村地帯で小学校4～6年生と中学生を対象にした調査では、有効回答数1,495名中140名(9.3%)が被害を経験していました。

科学警察研究所犯罪予防研究室は2006年に兵庫県神戸市内の公立小学校5校の全児童約2,700名を対象にアンケート調査を行いました。表1に示す7種類の被害経験を尋ねたところ(複数回答あり)、被害経験率は、高い順に、追いかけて(5.1%)、暴力(4.9%)、盗難(4.0%)、その他(3.5%)、誘い(2.3%)、カツアゲ(1.6%)、痴漢(1.5%)でした。何らかの被害を報告したのは全児童の15.3%でした。

中村教授の2回の調査と科学警察研究所の調査では被害率が異なりますが、アンケート調査の方法による違いだと考えられています。総合すると、およそ小学生の約1割は何らかの被害にあっているといえるでしょう。この率は成人の被害率よりも高く、子どもの防犯対策の必要性が示されているといえます。

《表1》

種類	提示した文面	被害率
追いかけて	追いかけられたり、後をつけられた	5.1
暴力	叩かれたり、物をぶつけられたり、手をつかまれたり、体を触られた	4.9
盗難	知らないうちに、持ち物を盗まれた	4.0
その他	その他の怖いことや、いやなことをされた	3.5
誘い	ついてこないか、何か買ってあげようか、車に乗らないかなどと誘われたり、どこかに連れて行かれた	2.3
カツアゲ	物やお金をひったくられたり、無理やり取り上げられた	1.6
痴漢	エッチなことを言われたり、恥ずかしいものを見せられた	1.5

2 被害の時間・場所は集中している？

子どもはどのような時間・場所で被害にあっているのでしょうか。科学警察研究所が神戸市で実施した小学生とその保護者対象のアンケート調査結果を見てみましょう。このアンケートでは約350名から532件の被害情報が収集されました。

まず、発生時間帯別に見ると(グラフ1)、学校登校日では午前中の被害はほとんどなく、15～17時台が多くなっています。子どもの防犯という点と登下校時が想像されますが、被害が起きているのは学校からの下校時ではなく、少し遅めの時間帯であることに留意すべきです。

一方、休日では午前、午後ともに広く被害が報告されています。グラフを見ると平日の被害が多いですが、1週間のうち平日が5日、休日が2日だと考えると、平日と休日とで被害のあいやすさにはさほど違いがないといえます。

場所については(グラフ2)、全体で見ると、道路37%、公園22%、駅・店舗8%、駐車場・駐輪場7%の順でした。しかし、被害類型によって発生場所が異なります。たとえば、追いかけてや誘いの被害は道路上での発生が多いのに対して、カツアゲや盗難の被害は公園

での発生が多くなっています。また、痴漢の被害は駐車場・駐輪場で目立っています。もちろん、この他にもエレベーターの中や階段の踊り場など、被害にあいやすい場所はたくさんあります。

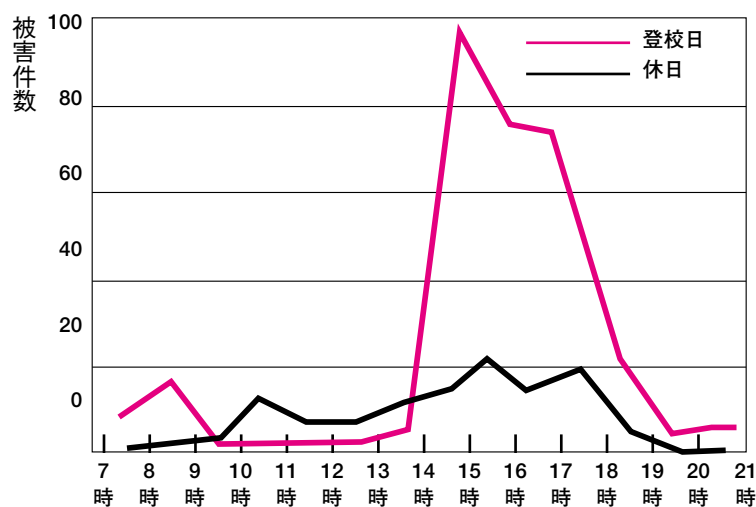
被害場所を地図上に落としてみたところ、特定の公園や地下道、大規模商業施設など被害が集中する場所が見られました。一般に、犯罪は特定の場所に集中すると言われています。子どもの被害についてもその集中する場所を割り出して、必要な対策を取ることが重要です。

また、子どもの被害防止には、子どもを独りにしないことが重要だといわれています。実際の被害が起きた際、子どもは独りだったのでしょうか、それとも友人や家族、他の人といったでしょうか。

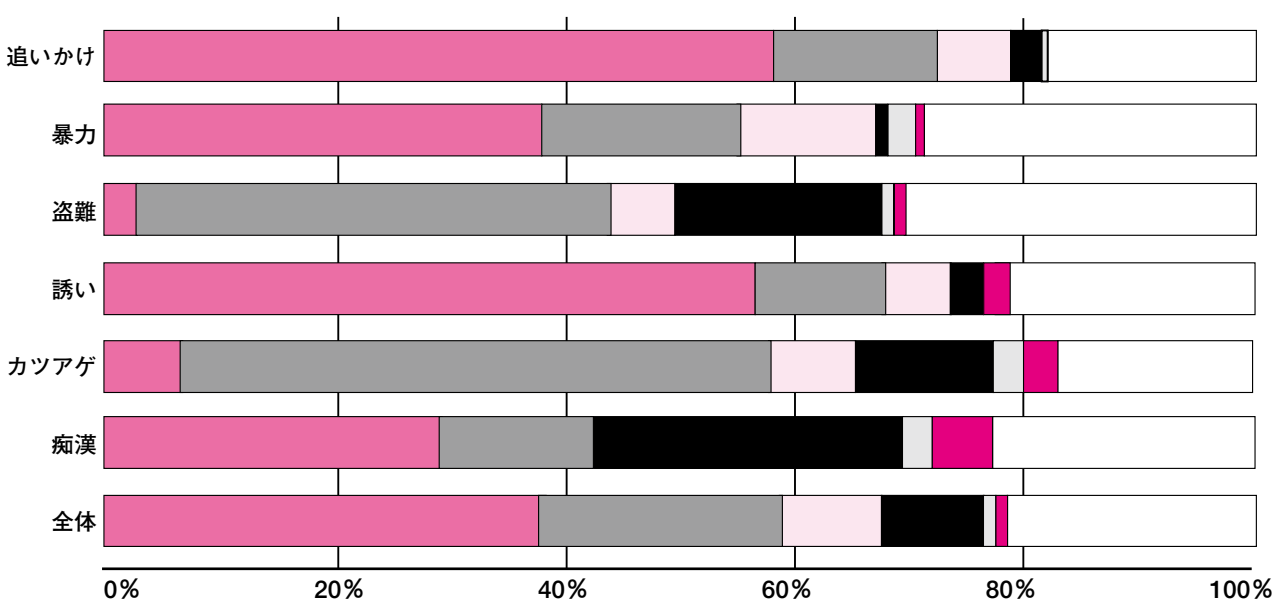
次ページのグラフ3は、被害時の同伴者の有無を、被害の種類別に示しています。独りきりの割合が多い順に、誘い、追いかけ、暴力、カツアゲ、痴漢でした。(なお、盗難は被害発生時の状況が分からないため分析から除外)。甘言で誘われたり、追いかける、後をつけられる、といった被害はやはり独りきりでいる場合が多いようです。

グラフ4は、同じく被害時の同伴者の有無を、学年別で示しています。学年が上がるにつれ、独りきりでいる場面の割合が増えています。学年が上がるにつれ行動範囲は広がり、単独や子どもだけの行動場面は増えると考えられるため、必ずしも単独行動場面が危険だということではありませんが、留意が必要です。

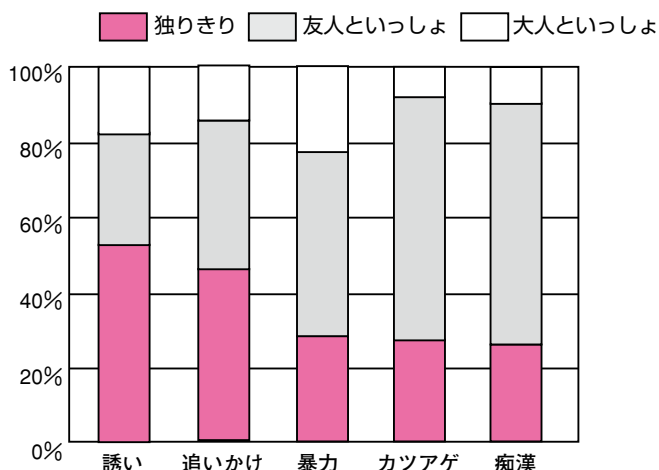
《グラフ1》



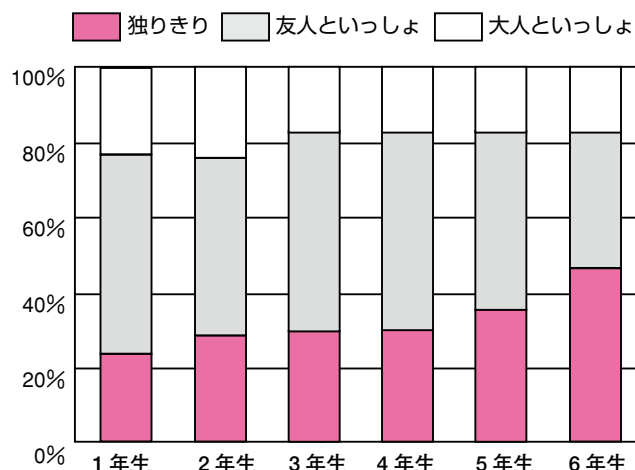
《グラフ2》 道路 公園 駅・店舗 駐車場・駐輪場 バス・電車車内 空き地 その他



《グラフ3》



《グラフ4》



3 被害情報がどう伝わるか

子どもが自分自身の防犯のためにできることには、身体能力や情報収集能力、さらにはお金の面で限界があります。むしろ、保護者や地域住民など大人が適切な防犯対策を考えることが大切です。そのため、子どもの防犯についての大人の意識を知る必要があります。

2006年に内閣府が実施した「子どもの防犯に関する特別世論調査」では、子どもの犯罪被害の不安を感じる人が全体の74.1%を占めています。不安になる理由を尋ねたところ、回答者の85.1%が「テレビや新聞で、子どもが巻き込まれる事件がよく取り上げられるから」を挙げた一方、12.1%の回答者が「近所で子どもが巻き込まれた事件が発生したから」という回答を挙げています。

最近、学校・警察・行政が保護者や地域住民に対して子どもの被害に関する情報を積極的に配信しています。また、大人同士の日常的な会話で被害情報が伝わることもあるでしょう。これらの情報はどのように伝わっているのでしょうか。

グラフ5は、科学警察研究所が神戸市で実施したアンケート調査で、被害を経験した児童の割合と、その被害を見たり聞いたりした保護者の割合を、被害のタイプ別に示しています。

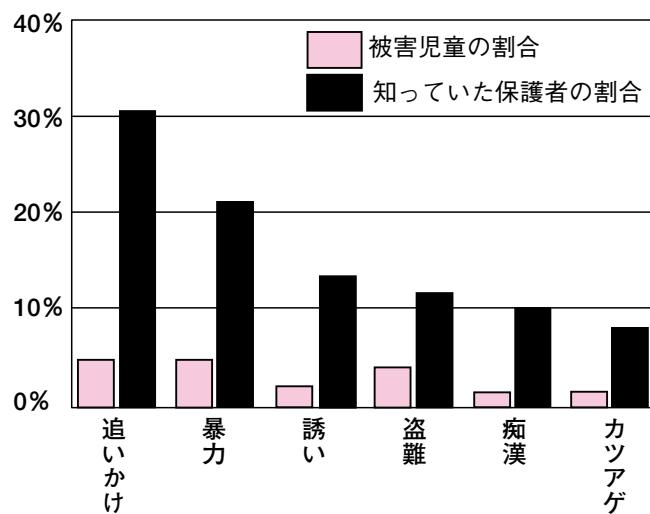
たとえば「追いかけて」の場合、児童の5.1%が被害にあっているのに対し、保護者の30%がその被害を見たり聞いたりしていることになります。被害の伝わりやすさ（二つのグラフの高さの比率）は、痴漢、追いかけて、誘い、カツアゲ、暴力、盗難の順でした。痴漢、追いかけて、誘いといった変質者・不審者に起因する被害への保

護者の注意は高いものの、カツアゲやけんかなど子ども同士に起因する被害には注意が行き届かない可能性があります。

外国の研究でも、自分自身が被害にあう不安よりも家族が被害にあう不安の方が大きいこと、被害情報を見たり聞いたりすると不安が高まることがわかっています。前述の内閣府の世論調査や科学警察研究所の研究結果とも一致しています。

被害情報を聞いて単に不安に感じるのではなく、適切な防犯対策を考えることが重要です。類似の被害が起きないように注意するとともに、パトロールなどの防犯活動を行う際の参考にすることが期待されます。

《グラフ5》



防犯教室に関する事前アンケート用紙

防犯教室をより充実したものにするために、事前に確認させていただきたい事柄について記しました。ご協力ください。

●教育機関の名前、連絡先(電話・FAX番号)、担当の先生のお名前

●希望日時 年 月 日 ()
開始時間 時 分 / 終了時間 時 分

●場所 体育館 ☐ 教室 ☐ 園庭・校庭 ☐ その他 ()

●学年(年齢)と子どもの数 年生 約 人

●今回の防犯教室で取り扱ってほしい内容やテーマ

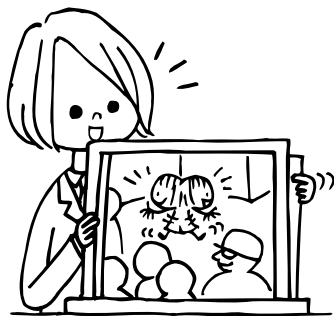
●希望する教材 ビデオ ☐ DVD ☐ 紙芝居 ☐ その他 ()

●これまでに実施した防犯教室の内容

●保護者の参加 有 ☐ 無 ☐ ●地域の人参加 有 ☐ 無 ☐

●今までに被害にあったり、ケアの必要なお子さんはいますか？

●その他、ケアが必要な点や、メッセージがあれば、お書きください。



©子ども防犯教室の
手引き&プログラム集

連絡先： _____

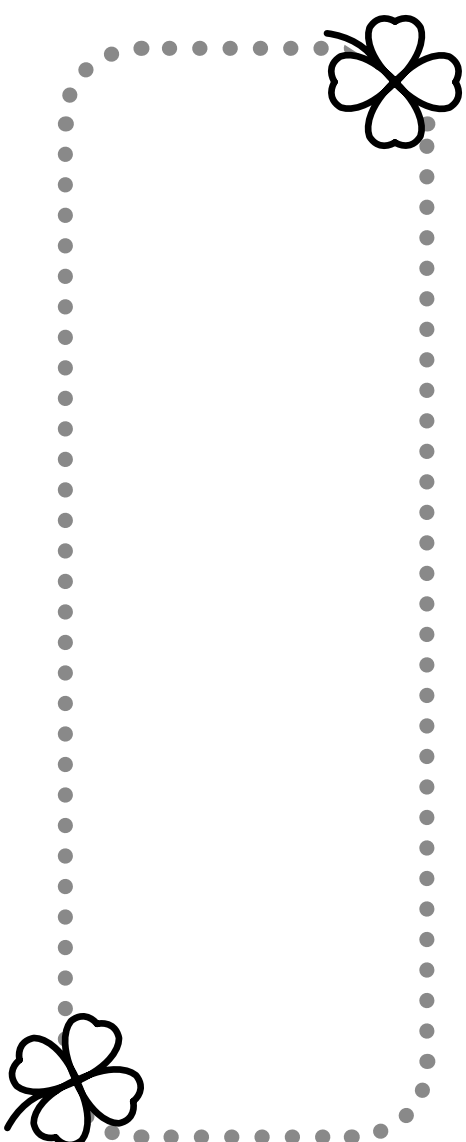
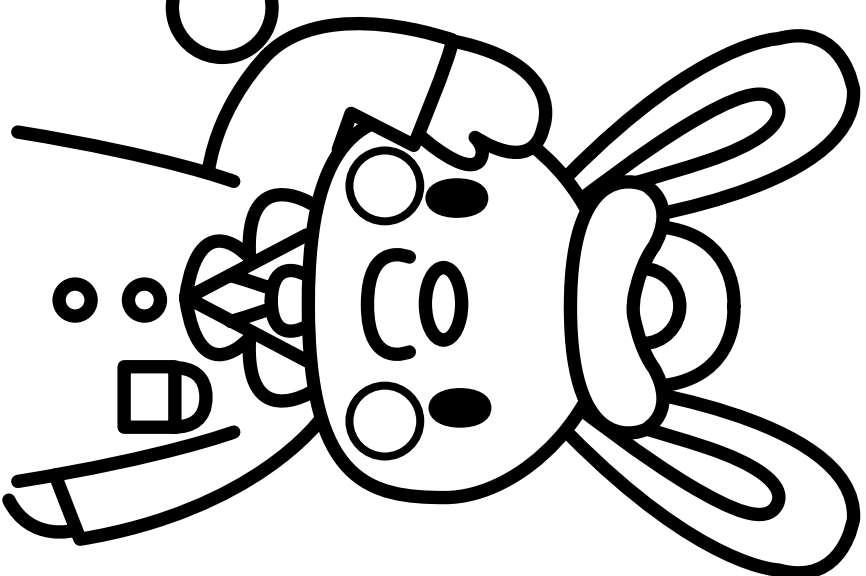
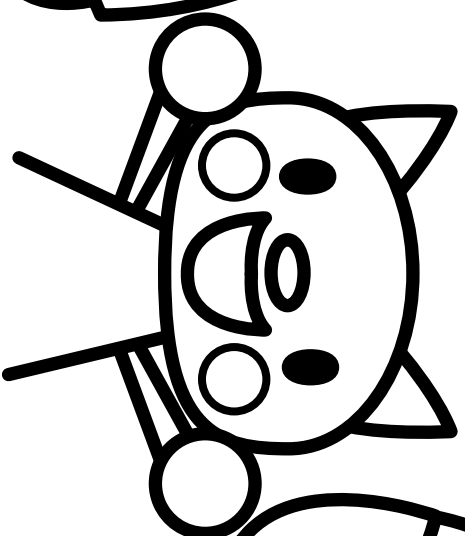
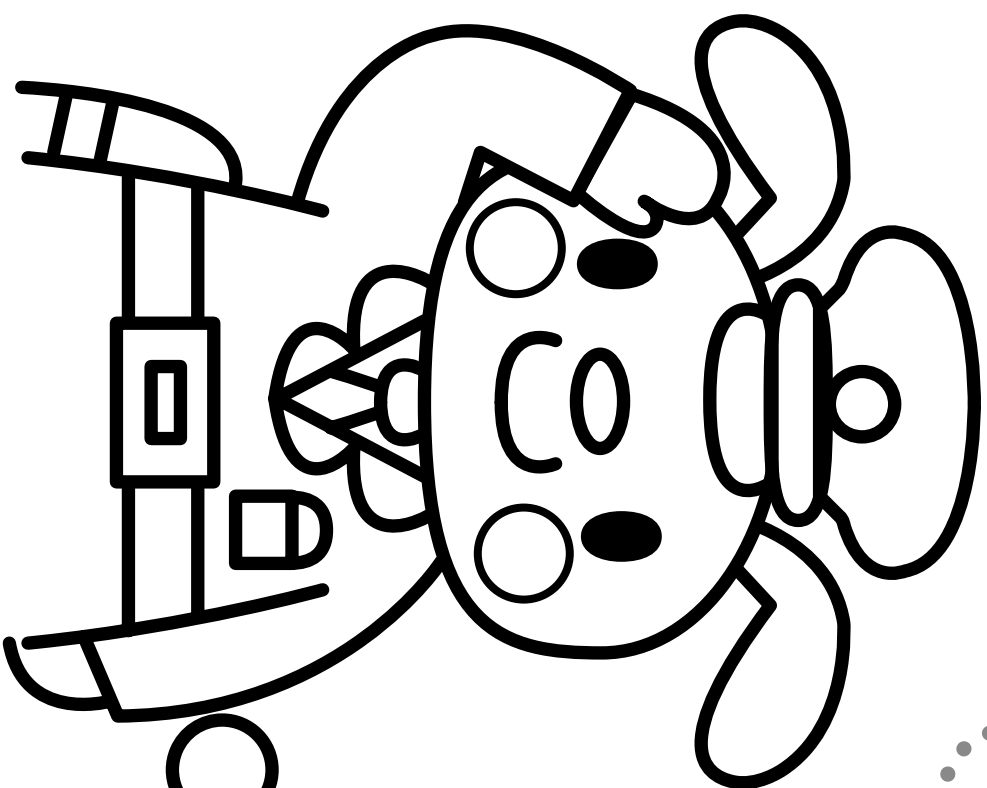
担当部署： _____ 担当者名： _____

電話： _____ FAX _____

準備の都合上、 月 日 () までに上記連絡先へご返信ください。

ふりかえり 参考資料

きよう ならった ことは
わすれないように しようね！



ふりかえり 参考資料

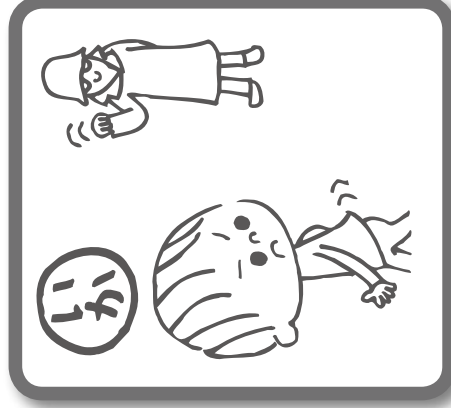
防犯標語

(警視庁・東京都教育庁考案)

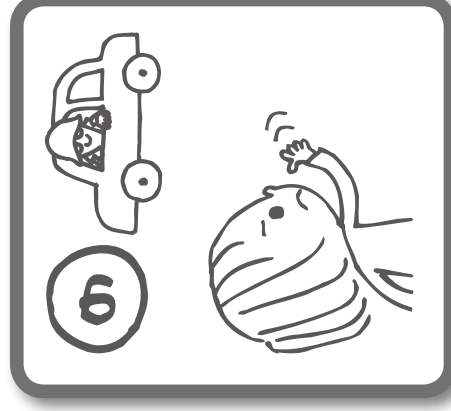
いかのおすしをおぼえよう!



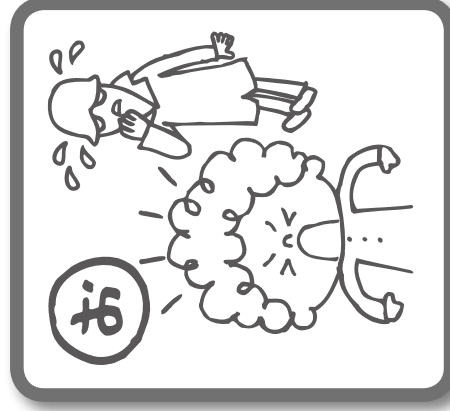
防犯の楽しいな約束を
標語にしたものだよ。
標語の意味を思い出して、
書いてみよう。
安全は、自分でも気を
つけて守ろうね!



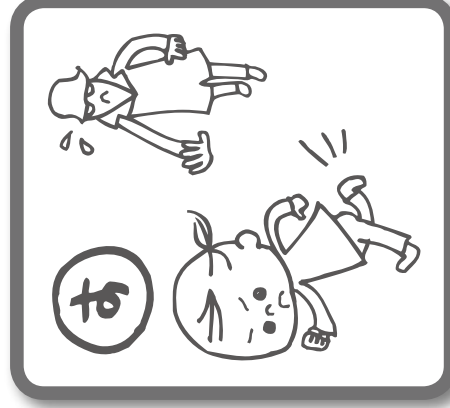
いか



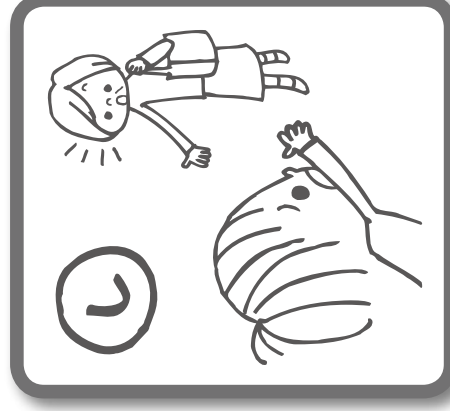
め



お



す



し

ふりかえり 参考資料

イエス

ノー

子ども防犯 YES・NO クイズ

正しいと思うものには YES に✓を、
まちがっていると思うものには NO に✓をつけてください。



Q1

子どもの連れ去り事件のほとんどは、
子どもが一人でいるときにおきている？

YES ☐ NO ☐

Q2

路上駐車が多い道は、車に乗り降り
する人が多いので、安全？

YES ☐ NO ☐

Q3

道を歩くときは、後ろにも気をつける？

YES ☐ NO ☐

Q4

自転車に乗っていればスピードが
出ているので、チカンや連れ去りなどの
犯罪にあうことはない？

YES ☐ NO ☐

Q5

防犯ブザーは、人に見えにくい場所に
つけておく？

YES ☐ NO ☐

Q6

エレベーターでコワイ思いをしたら、
できるだけ早くおりて、上に逃げる？

YES ☐ NO ☐

Q7

ゴミが散らかっている場所は、
汚いから、
犯罪者も寄りつかない？

YES ☐ NO ☐

なぜそう判断したか、
よく考えてみよう！！



子ども防犯 YES・NOクイズ(P.66)の答え

Q1. 子どもが一人にいるときには声をかけられやすい？

A1. YES

ポイント：一人にならないことがたいせつ！ でも、二人以上でいるときも、知らない人に声をかけられたら気をつけて。

解説

- ねらわれないように、一人で歩かない、一人で遊ばないこと。
- 一人にいる友だちを見かけたら、声をかけていっしょに歩いてあげるようにしましょう。
- 二人以上でいっしょにいるからといって油断してはダメ。二人以上のときも、知らない人についていたりしてはいけません。
- 留守番もできれば一人でしない方が安全ですが、どうしてもしなければならないときは、カギを見えないように持ち歩く→家の前に着いたら周囲を見回してだれかについてこられていないかを確認→玄関の呼び鈴（ピンポン）をおして「ただいま！」と声をかけながらカギを開ける→急いで中に入ってすぐにカギをしめること。

Q2. 路上駐車が多い道は、車に乗り降りする人が多いので、安全？

A2. NO

ポイント：ルール違反の多い場所には近づかないこと！

解説

- 路上駐車というのは、町のルール違反。ルール違反の多い場所は、見ている人がだれもない証拠。だから人目はほとんどないと言ってよいでしょう。
- 車があるところは、死角（見えにくい場所・車の中や車のかげなど）も多い。そういう場所にはだれかが隠れていて、君たちをねらっているかもしれないので、止まっている車からは両手を広げたくらいの距離をとって通りすぎる。（そのとき、走ってくる車にもぶつからないように注意）
- 止まっている車以外にも、茂みや建物のかげなど、「見えにくい場所」や「隠れやすそうな場所」には近づかないようにしましょう。

Q3. 道を歩くときは、後ろにも気をつける？

A3. YES

ポイント：前を向いて歩きながら、後ろにも注意すること！

解説

- 悪いことをしようとする人は、君たちの後ろから近づいてくることが多いのです。それは、顔を見られにくいから。後ろから近づく方が、気づかれにくいこともあるでしょう。
- だから、後ろの気配や音に十分注意すること。ときどき振り返って様子確かめたり、車やバイクの音が聞こえたら、立ち止まって後ろを確認しましょう。「危険だな」と感じたら、荷物を抱えて、道のはしによきましょう。
- 歩道と車道が分かれていない場所では特に注意！ 交通事故にもあいやすいし、ガードレールがないとひたたくりにもあいやすく、車に簡単に乗せられて連れ去られてしまうこともあります。
- 他にも、人や自転車にぶつかったりすると、いろいろなトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあるので、広がって歩いたりふざけあって歩いたりしないで、マナーを守ることが大切です。

Q4. 自転車に乗っていればスピードが出ているので、チカンや連れ去りなどの犯罪にあうことはない？

A4. NO

ポイント：自転車に乗っているときも、歩いているときと同じように注意が必要。

解説

- 「自転車に乗っているときは、スピードが出ているからだいじょうぶ」と考える人がいるかもしれませんが、実際自転車に乗っているときは両手がふさがっているため、通りすがりにわきのあたりを触るようなチカンにあった、というようなケースもあります。他にも、自転車に車をわざとぶつけてくるような犯罪もあるので、自転車に乗っていてもスキを見せないように、周りに注意することがだいじです。
- 自転車で出かけると、「今日は自転車だから、少しくらい暗くなるまで遊んでいても、帰りはスピードを出して走れるからだいじょうぶ！」と思っていませんか？ スピードの出しすぎは事故のもと。自転車で出かけた日も、暗くなる前に遊ぶのをやめて、ゆっくり安全に家に帰りましょう。
- 習い事などで、どうしても暗くなってから自転車に乗らなければならない場合は、必ずライトをつけましょう。

Q5. 防犯ブザーは、人に見えにくい場所につけておく？

A5. NO

ポイント：外から見えやすい場所につけて、警戒していることをアピールしよう。

解説

- 防犯ブザーは外から見えやすい場所につけ、すぐ使えるようにしておくことが大切です。「何かあったらすぐに防犯ブザーを鳴らして、助けを求める準備ができています」という姿勢を見せることに、犯罪をおさえる効果があるからです。
- どうやって持ち歩けば安全で、すぐ使うことができるか、家の人と相談していろいろくふうしてみることが大切です。首から下げると引っかかったり引っぱられたりしたときに危険なので、注意が必要です。防犯ブザーの種類もいろいろあるので、自分にはどれが合っているか、実際に売り場で確かめてから購入しましょう。
- 何かあったら、大声を出すか、防犯ブザーを鳴らす。大声が出なくても、あきらめない。防犯ブザーを持っていなくても、あきらめない。どちらかができればOK。両方でできれば、さらに効果的です。
- 大声を出す練習（ふだんから大きな声であいさつをするなど）や防犯ブザーを鳴らして止める練習（電池のチェック、こわれていないかどうかのチェック）もしておくこと。

Q6. エレベーターでコワイ思いをしたら、できるだけ早くおりて、上に逃げる？

A6. NO

ポイント：建物の上の方には、人が少ない可能性が高いので、下に向けて逃げよう。

解説

- エレベーターには、なるべく一人で乗らないように。お家の人が、友だちといっしょに乗る方が安心です。
- もし一人で乗るときに、知らない人がいっしょに乗り込もうとしてきたら、自分は乗らずに、次のエレベーターを待ちましょう。
- 上に逃げると、人がいない可能性があります。屋上は行き止まりなので、逃げるときは必ず下に向かって、人のいる場所へ。

Q7. ゴミが散らかっている場所は、汚いから、犯罪者も寄りつかない？

A7. NO

ポイント：「汚い場所」は、「犯罪を実行しやすい場所」だと覚えておこう。

解説

- 落書きがある場所や、ゴミが散らかっている場所も、路上駐車と同じように町の中の「ルール違反の多い場所」なので、見ている人が少ない証拠。
- 悪いことをしようとする人は、「汚い場所」や「散らかっている場所」が大好き。そういう場所では、「もっと悪いことができるぞ」と思われてしまいます。
- たとえば、ゴミが散らかっていたり落書きがあるような公園には犯罪者が集まってきてしまいますが、ゴミもなく花壇がきれいに整備されている公園では、悪いことがしにくいようです。ですから、汚い場所には近づかないようにして、君たち自身も落書きをしたりゴミを散らかしたりしないようにしましょう。
- もし、町の中で、すごく散らかっていたり汚くなっているような場所があったら、お家の人と相談して、学校の先生や近所の方にも協力してもらいながら、きれいにできるといいですね。

子ども防犯YES・NOクイズ(p.66)の使い方

- 防犯教室終了後の「ふりかえり用紙」として配布。
- 防犯教室のプログラムとしても活用できる。
：指導者が問題を読み上げ(問いかけ)、子どもたちに答えてもらう。

参考

答えがYES→「パー」で手をあげる

答えがNO →「グー」で手をあげる

子どもの安全確認シート

【先生用】



各質問に対し、正しいと思われるものには○、
間違っていると思われるものには×を記入してください。

- 質問1. 子どもたちが外に出ている時間帯のうち、
下校時間帯がもっとも被害にあいやすい。..... ☐
- 質問2. まちでよく見かける人は安心なので、
声をかけられたら近づいても良い。..... ☐
- 質問3. 車から声をかけられたら、
安全な距離まで離れる。..... ☐
- 質問4. 見通しが悪いと、先に潜む危険を察知しにくいので、
ゆっくり歩く。..... ☐
- 質問5. 人なつっこく誰にでも積極的に話ができる子どもは、
狙われにくい。..... ☐
- 質問6. 見通しのよい公園・学校ならいつでも逃げ込める
安全な場所である。..... ☐
- 質問7. 外を一人で歩くとき、さっさと歩くことで
声をかけられにくくなる。..... ☐
- 質問8. 緑日、夏のプールや海、行楽地は人が大勢いるので
安心である。..... ☐

クラスで・学年で・学校全体ではどうですか？

いじめ、犯罪被害、その他いろいろなことで悩んでいないか、
子どもたちのサインを見逃さないようにしましょう。

ふりかえり 参考資料

子どもの安全確認シート・解答 【先生用】

質問 1. ×

科学警察研究所犯罪予防研究室が2006年に実施した小学生の犯罪被害実態調査では、子どもが被害にあった時間は下校時よりも少し遅めの15時から17時台が多くなっています。下校時だけでなく、帰宅後の外出についての指導・対応が望まれます。(p.61 資料参照)

質問 2. ×

非常に難しい問題です。「よく見かける人は安心」というところに不確定な不安要素があるのです。まちでよく見かける人でも素性のわからない人は知り合いとは言えません。知っている人は安全・知らない人は怖い人という判断方法ではなく、誰とでも一定の間隔をもって話すことを教えましょう。

質問 3. ○

車に乗ってしまったら簡単に逃げ出せなくなります。お家の人以外の車には絶対に乗らないことを教えましょう。車から声をかけられたら、すぐに安全な位置まで離れます。話を聞くときは、ドアが開いても引き込まれないサイドミラーよりボンネット側に立ちます。会話を続けることで相手の口車に乗せられやすくなるので、聞こえないふりをして通り過ぎるのも手です。

質問 4. ×

見通しの悪い場所の危険性について、子どもに考えさせましょう。誰かが隠れていても気づきにくい危険を認識したら、曲がり角は大回りをして曲がると、早い段階で潜んでいる人に気づくことを教えてあげましょう。なるべくそのような道を避け別の道を選ぶ。ほかに安全な道がないという状況のときは、警戒しながら一気に走り抜いて通り過ぎましょう。

質問 5. ×

こういう子どもはたいへん愛らしい子どもですが、皮肉にも不審者にも好かれてしまう危うさがあります。しっかりしている子どもも「自分は平気」と思うことで判断を間違えることがあります。外出中や一人にいるときは心にちょっとした警戒心を持つように教えましょう。

質問 6. ×

ひっかけ問題です。たしかに、見通しのよい公園も学校も安全のように思えます。しかしそれは昼間という条件付です。先生がいる時間帯の学校は安全かもしれませんが、夜間の学校の雰囲気ガラリと変わります。同じ夕方5時でも夏と冬では暗さが違う、同じ海でも夏と冬では人の賑わいが違うなど時間帯や季節、環境、条件によって危険に変化することを教えましょう。

質問 7. ○

不審者から声がけされにくくするには、話しかけるすきを与えないように、さっそうと歩くことです。特に1人のときは後ろから近づく車や人に注意します。何度か振り返ることで、警戒している様子を見せることができます。

質問 8. ×

人の大勢集まる場所では不審者がまぎれ、目立ちにくいという危険があります。スリや連れ去りなど被害が多くなる場所でもあります。特に楽しいことに夢中になっていると不審者が近づいても気づきにくいので、迷子にならないよう、保護者や先生から離れないように教えましょう。

子どもの安全確認シート

【小学校低～中学年の保護者用】

各質問に対し、正しいと思われるものには○、
間違っていると思われるものには×を記入してください。



質問1. (子どもどうし外で遊んでいるとき)友だちがトイレに
行くときには、遊びを中断してでもいっしょに行かせる。..... ☐

質問2. 友だちが先に帰っても、親に伝えた帰る時間になるまで
しっかり遊ばせる。..... ☐

質問3. 保護者と外出中に迷子になったら、必ず親が来ると思う場所
(店舗の入口や駐車場)で待つように教える。..... ☐

質問4. 防犯ブザーが最も有効だと思われる場所は、
車や電車がよく通る高架下などである。..... ☐

質問5. 「子ども 110 番の家」は子どもが被害にあわないよう
地域の人が見守り活動をするための集合拠点である。..... ☐

質問6. 外出してすぐに忘れ物に気づいたので、
その場で子どもを待たせ、急いで自宅に取りに帰る。..... ☐

質問7. 小さくても、海やプールに遊びに行ったときには、
大人と同じように更衣室で着替えさせる。..... ☐

質問8. 子どもと外出中は、携帯電話のメールや会話に
夢中にならない。..... ☐

ご家庭では実行していますか？

「あいさつ」はだいじであることを日頃から子どもに伝え、
家でも実践しましょう。

ふりかえり 参考資料

子どもの安全確認シート・解答

【小学校低～中学年の保護者用】

質問 1. ○

トイレには絶対に一人で行かせないようにしましょう。どうしても一人で行かなくてはならないときには、トイレの前で中の様子を伺い、決して奥に入らず、入口近くの便器を使うように教えましょう。

質問 2. ×

子どもだけで遊ぶときのルールを親子で決めましょう。遊びに行く場所・友だちの名前・帰る時間を保護者に伝えるのはもちろんですが、途中で遊ぶ場所を変更するときにも、保護者に連絡させます。たとえ約束の帰る時間でなくても、一人で遊んでいると危険なので、友だちが帰るときにはいっしょに帰るように伝えましょう。

質問 3. ×

外出先で迷子になったときの対応を親子でしっかり決めておきましょう。子どもの判断で店の外に出たり、駐車場に行くなど一人でいるところを狙われ連れ去りにあう危険があります。子どもの迷子は、親にも責任があります。子どもが見つかったらしかる前に、抱きしめながら心配していた気持ちをまず伝え、二度と迷子にならないよう教えます。

質問 4. ×

子どもに防犯ブザーを持たせたからといって安心せず、どのような場所でも有効なのか、親子で考えましょう。人の耳に届く場所なら有効ですが、工事現場、電車や高速道路の高架下がよく通るうるさい道トンネルなど音が壁に当たってはね返る場所は、ブザーを鳴らしても人の耳に届きにくいので注意が必要です。

質問 5. ×

「子ども 110 番の家」は、子どもが危険な目にあったときに助けを求める避難所です。住宅・ガソリンスタンド・コンビニや、駅、タクシーなどの交通機関にも運動が広がっています。名称は「子ども避難所」、「かけこみ 110 番」、「子ども安全協力の家」など地域によって異なりますので、自分の地域ではどこにあるのかしっかり確認しましょう。

質問 6. ×

わずかな時間でも目を離したすきに、子どもが被害にあうことがあります。一人で戻った方が早いと思っても、常に子どもといっしょに行動しましょう。

質問 7. ○

小さいから平気と子どもの体を公衆にさらしていませんか？ 温泉やスーパー銭湯などで、女の子を男風呂に入れていませんか？ 小児性愛者など、だれがどのような目的で見ているかわかりません。子どもの大切な体を守る意識を持ちましょう。

質問 8. ○

近くにいるだけでは見守っているとは言えません。いざというときにいつでも対処できるよう、外出先では子どもから目を離さないようにしましょう。

子どもの安全確認シート

【小学校中～高学年の保護者用】

各質問に対し、正しいと思われるものには○、
間違っていると思われるものには×を記入してください。



質問1. 親も知っている人から車で「送っていくよ」と子どもが
声をかけられたら、断るのも申し訳ないので送ってもらい、
後で親に報告するよう教える。..... ☐

質問2. エレベーターに乗るときは、
入口ではなく奥に入って立つのがよい。..... ☐

質問3. エレベーターに乗るときは、不審な人が乗っていないか注意する。..... ☐

質問4. エレベーター内で襲われたら、激しく暴れて抵抗する。..... ☐

質問5. 暗い道で後ろを歩いている人を確認する方法として、
止まっている車のサイドミラーをのぞくとよい。..... ☐

質問6. やむを得ない理由で、子どもだけで留守番をさせるとき、
訪問者が来たら「お家の人はトイレに入っているので
出られません」と答えさせる。..... ☐

質問7. 子どもが、塾や習い事で突然一人だけ
居残るように言われたら、遅くなると親が心配するので
手短にお願いするよう教える。..... ☐

質問8. 子どもに留守番させるときには、鍵を落とすかもしれない
ので、玄関の近くのどこかに隠し場所を決めておく。..... ☐

ご家庭では実行していますか？

小さい子が外で遅くまで遊んでいるのを見たら、「早く帰ろうね」
と声をかけてあげるよう、子どもにも教えましょう。

ふりかえり 参考資料

子どもの安全確認シート・解答

【小学校中～高学年の保護者用】

質問 1. ×

たとえ親子でよく知っている人でも、親の知らないところで、子どもの判断で車に乗らないよう、車に乗る前に必ず親と連絡を取り、相談させるように教えましょう。相手の人にお家の人に電話してもらう、子どもが携帯電話を持っていれば直接かけるなど、連絡方を具体的に決めます。連絡が取れないなら「ありがとうございます。でも、お家の人と連絡が取れないので、今日はやめておきます」と断らせることが大切です。

質問 2. ×

エレベーターは、ドアが閉まると密室になります。奥に入ってしまうと出口をふさがれたら逃げられなくなりますから、なるべく入口付近に立ちましょう。自分でドアの開閉や階層ボタンを操作できる位置にいれば、いざというときすぐに逃げられます。できるだけ操作盤の近くに立ち、非常通報ボタン（呼び出しボタン）に手が届くかどうかを確認しましょう。

質問 3. ○

エレベーターに乗るときはいっしょに乗る人の中に、不審な人がいないかどうか注意しましょう。不審な人と二人きりなら、できるだけ降ります。できなかつたら相手の様子が見えるよう、壁を背にして立ちます。同時に操作盤の近くで非常通報ボタンをいつでも押せる準備をして警戒しましょう。

質問 4. ×

襲われたときに抵抗して暴れると、エレベーターの安全装置が働いて非常停止し、場合によっては閉じ込められることがあるのでかえって危険です。非常通報ボタン・防犯ブザーを鳴らし周囲に危険を伝えましょう。

質問 5. ×

止まっている車は無人とは限らず、近づいたとたんに車内に引きずり込まれるかもしれない危険な行為です。一人のときは後ろから突然襲われることもあるので、後

ろに誰かいないか確認させます。直接振り返るのもよいですし、勇気がないときはコンビニなどのお店のガラスに映る姿を見たり、カーブミラーで確認するなど考えてみましょう。

質問 6. ×

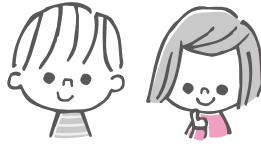
子どもだけで留守番していることを知られないためにも、保護者がいるけれど出られない理由を考えましょう。「お母さんは風邪で寝ているので出られません」というように相手がすぐに再訪しない理由がよいでしょう。会話が続くことで不在を知られてしまう危険があると判断した場合には、居留守をするのもよいでしょう。ただし、空き巣が入らないようにしっかり戸締りすることが重要です。

質問 7. ×

どんなに信頼している大人でも、二人きりの状況になるのはよい環境ではありません。「うちはしっかりしているからだいじょうぶ」と思うのも要注意です。予定にないことで居残りを言われたら、必ず親と先生が直接話し、その必要性を確認することが大切です。保護者と連絡が取れないなら、「親が知らないので、今日は帰ります」と断らせましょう。

質問 8. ×

鍵を隠せる場所はわりと限られており、侵入犯罪者ならすぐに見つけるといいます。別の方法で子どもが鍵をなくさないように工夫しましょう。家に入るときは、たとえ誰もいなくても「ただいま」と言って入り、すぐにドアを開けて鍵をかけるよう伝えましょう。



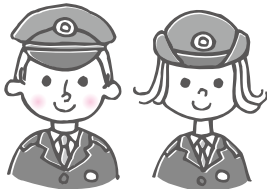
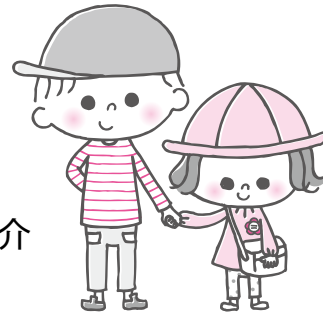
参考にしたい、子ども防犯関連サイト

子どもを見守るネットワークや活動事例、防犯活動の支援サイト、
ネットに関する内容など、役立つデータなどが見られます。

■ 文部科学省「子ども見守りナビ」

全国各地で実施されている「子ども見守る活動」紹介

<http://www.mimamoru.jp>



■ 警察庁「自主防犯ボランティア活動支援サイト」

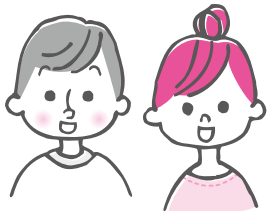
犯罪抑止につながった好事例などの紹介もあり。

<http://www.npa.go.jp/safetylife/seianki55/index.html>

■ ぼうはん日本

地域防犯に関わる人たちの情報共有サイト

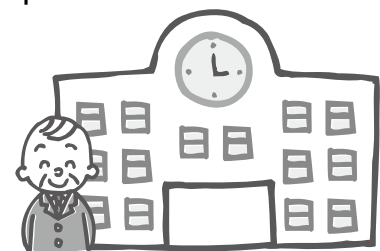
<http://www.bouhan-nippon.jp/>



■ ねちずん村

子どもたちのインターネット、
携帯電話利用に注意する保護者サポートサイト

<http://www.netizenv.org/>



各都道府県警察の 子ども防犯 に関する URL

クイズや紙芝居など、防犯教室のプログラムを考える際の参考になります。



◀ 北海道警察 「あんぜん・あんしんクイズ」

http://www.police.pref.hokkaido.jp/kids/quiz_top.html



▲ 埼玉県警察 こども広場 「ポップくんのあんぜんきょうしつ」

<http://www.police.pref.saitama.lg.jp/kenkei/shokai/kid's/kid's.htm>



◀ 千葉県警察 「子ども防犯クイズ」

http://www.police.pref.chiba.jp/publicity/kids_corner/quiz/qa03/q3_1.html

▼ 静岡県警察 「子ども安全情報」

※紙芝居・クイズ・安全安心マップの作成要領などを紹介。

<http://www.police.pref.shizuoka.jp/anzen/top.htm>





◀ 京都府警察

「京太くんあぶない！
－ 110 ばんのしくみ －」

※〈子ども110番のいえ〉の活用事例を紹介。

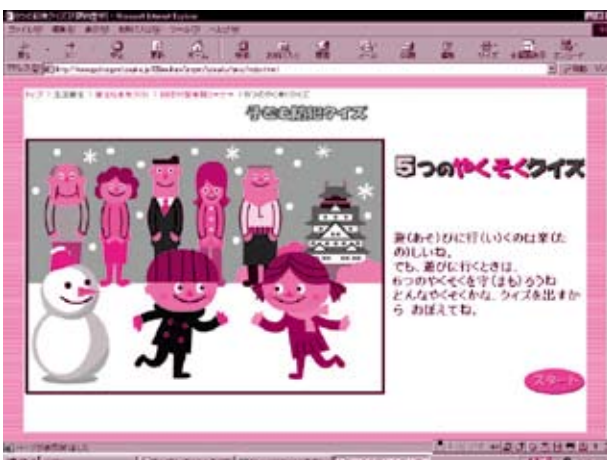
<http://www.pref.kyoto.jp/fukei/kodomo/nazenani/tusi/110.htm>

▶ 京都府警察

児童読本

「健太くんのおでかけ・
こんなことに気をつけよう」

http://www.pref.kyoto.jp/fukei/anzen/seiki_t/kenta/index.html



◀ 大阪府警察

「子ども防犯クイズ・5つの約束クイズ」

<http://www.police.pref.osaka.jp/05bouhan/anzen/taisaku/quiz/index.html>

▶ 岡山県警察

「キッズサイト・安全クイズ」

<http://www.pref.okayama.jp/kenkei/kids/quiz.html>

